



本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指しています。

セーフヨコミニユニティいづみおおつ

第
23
回

災害に備える取組み 災害安全対策委員会



「いづみおおつセーフコミュニティ」では、今年の夏に予定している認証審査に向けて取組みを進めているところです。今月号では「災害安全対策委員会」を取り上げます。

災害安全の課題

「地域連携が弱い」「防災意識が低い」
「災害への備えが少ない」

課題解決のための
具体的な取組み

- ① 泉大津市版「防災かるた」の作製
- ② 防災回覧板の作製
- ③ 地域防災訓練での連携

※取組内容は変わることがあります。

1

泉大津市版「防災かるた」の作製

防災意識が低いという重点課題から、小さい子どもからお年寄りまで幅広い年代の人に、楽しみながら防災知識を身に付けてもらうことができるよう「防災かるた」を作製しました。泉大津市版として、泉大津市で想定される災害の特徴（例：南海トラフの震度は6弱、津波到達時間95分、津波の高さ4.4mなど）や、市内の河川や地名（例：大津川、南海本線、松之浜など）も盛り込んでいます。

読みを対策委員会で考え、それをもとに、絵札を誠風中学校美術部の皆さんのが作成しました。

今後、市内の就学前施設（幼稚園、保育園、認定こども園）や小学校、高齢者施設などに配布する予定です。防災かるたで、楽しく防災を学びましょう！



2

防災回覧板の作製

災害への備えが少ない、防災意識が低いという重点課題から、防災情報を記載した回覧板を作製することになりました。

回覧板に備蓄物資などを紹介することで、家庭でも防災活動に取り組んでもらうこと目的としています。

今後、対策委員会で話し合って記載内容を決めていきます。
乞うご期待！！



3

地域防災訓練での連携

地域連携が弱いという重点課題から、地域防災訓練において連携します。

校区ごとの防災訓練において、対策委員会からの参加や、地域の現状を踏まえた工夫・改善の提案などを通じて、各団体や地域と連携すると共に、多くの皆さんの参加を促していきます。



カエルキャラバンでの様子